

13 サポートに必要な情報

お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止め、迅速な障害の解消を行うために、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、以下の点についてお知らせください。なお、都合により連絡が遅れることもございますが、あらかじめご了承ください。

●一般事項

すでに「サポート ID 番号」を取得している場合、サポート ID 番号をお知らせください。サポート ID 番号をお知らせいただいた場合には、ご連絡先などの詳細は省略していただいかないでください。

- サポートの依頼日
- お客様の会社名、ご担当者名
- ご連絡先
- ご購入先

●製品について

製品名 (GS916L V2)、製品のシリアル番号 (S/N)、製品リビジョンコード (Rev) などのハードウェア情報をお知らせください。

製品のシリアル番号、製品リビジョンコードは、製品に貼付されているシリアル番号シールに記入されています。

S/N 0047744990805087 Rev A1

図 6 シリアル番号シール（例）

●設定や LED の点灯状態について

- LED の点灯状態をお知らせください。

●お問い合わせ内容について

- どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に（再現できるように）お知らせください。

●ネットワーク構成図について

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図をお送りください。
- 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをお知らせください。

14 ご注意

本書に関する著作権などの知的財産権は、アライドテレシス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。弊社は、予告なく本書の一部または全体を修正、変更することができます。弊社は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することができます。

© 2008 アライドテレシスホールディングス株式会社

15 商標について

CentreCOM は、アライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。

16 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されるとき、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

17 廃棄方法について

本製品を廃棄する場合は、法令・条例などに従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせいただきまますようお願いいたします。

18 日本国外での使用について

弊社製品を日本国外へ持ち出されるお客様は、下記窓口へご相談ください。

0120-860442

月～金（祝・祭日を除く）9:00～17:30

19 マニュアルバージョン

2008年12月 Rev.A 初版

613-001116 Rev.A 081219

ギガビットイーサネット・スイッチ

CentreCOM® GS916L V2 ユーザーマニュアル

この度は、CentreCOM GS916L V2 をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本製品は、10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポートを 16 ポート装備したギガビットイーサネット・スイッチです。

本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、お読みになった後も大切に保管してください。

本製品のご使用にあたって

本製品は、医療・原子力・航空・海運・軍事・宇宙産業など人命に関わる場合や高度な安全性・信頼性を必要とするシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用を意図した設計および製造はされておりません。

したがって、これらのシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んで本製品が使用されることによって、お客様もしくは第三者に損害が生じても、かかる損害が直接的または間接的または付隨的なものであるかどうかにかかわりなく、弊社は一切の責任を負いません。

お客様の責任において、このようなシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んで使用する場合には、使用環境・条件等に充分配慮し、システムの冗長化などによる故障対策や、誤動作防止対策・火災延焼対策などの安全性・信頼性の向上対策を施すなど万全を期されるようご注意願います。

1 特長

- ポートの通信状況が一目でわかる LED を装備
- オートネゴシエーション機能をサポート
- MDI/MDI-X 自動切替機能をサポート
- フローコントロール機能をサポート
Half Duplex 時：バックプレッシャー
Full Duplex 時：IEEE 802.3x PAUSE
- 16.379Byte の Jumbo フレーム対応

2 梱包内容

製品の最新情報について

本製品リリース後の最新情報を弊社のホームページにてお知らせします。

<http://www.allied-telesis.co.jp/>

2 梱包内容

最初に、梱包箱の中に次のものが入っていることを確認してください。

- CentreCOM GS916L V2 本体 (1 台)
- 電源ケーブル* (1.8m, 1 本)
- ユーザーマニュアル (本書)
- 製品保証書 (1 枚)
- 製品仕様書 (英文) (1 枚)
- シリアル番号シール (2 枚)

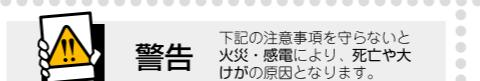
* 同梱の電源ケーブルは AC100V 用です。AC200V でご使用の場合は、設置業者にご相談ください。

* 同梱の電源ケーブルは本製品専用です。他の電気機器では使用できませんので、ご注意ください。

また、本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包されることが望されます。再梱包のために、本装置が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管してください。

安全のために

必ずお守りください



警告

下記の注意事項を守らないと
火災・感電により、死亡や大
けがの原因となります。



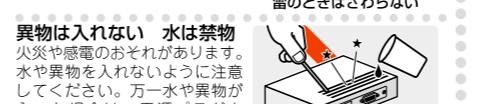
分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載の
ない分解や改造はしないでくだ
さい。火災や感電、けがの原
因となります。



雷のときはケーブル類・ 機器類にさわらない

感電の原因となります。



異物は入れない

水は禁物
火災や感電のおそれがあります。
水や異物を入れないように注意
してください。万一水や異物が
入った場合は、電源プラグを
コンセントから抜いてください。



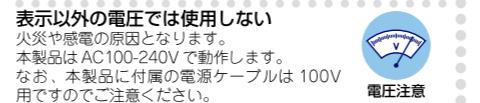
通風口はふさがない

内部に熱がこもり、火災の原
因となります。



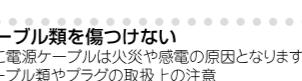
湿気やほこりの多いところ

油煙や湯気のある場所
には置かない
火災や感電の原因となります。



表示以外の電圧では使用しない

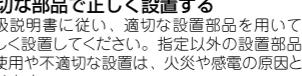
火災や感電の原因となります。
本製品は AC100-240V で動作します。
なお、本製品に付属の電源ケーブルは 100V
用ですのでご注意ください。



ケーブル類を傷つけない

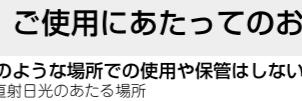
特に電源ケーブルは火災や感電の原因となります。
ケーブル類やプラグの取扱上の注意

- ・加工しない、傷つけない。
- ・重いものを載せない。
- ・熱器具に近づけない、加熱しない。
- ・ケーブル類をコンセントなどから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。



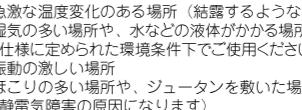
適切な部品で正しく設置する

取扱説明書に従い、適切な設置部品を用いて
正しく設置してください。指定以外の設置部品
の使用や不適切な設置は、火災や感電の原因と
なります。



機器は、乾いた柔らかい 布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らか
い布に薄めた台所用洗剤(中
性)をしみこませ、固く絞った
もので拭き、乾いた柔らかい
布で仕上げてください。



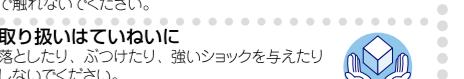
お手入れには次のものは使わない ください

石油・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・
粉せっけん・みがき粉
(化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書き
に従ってください)



静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。
部品が静電気で壊されるおそれがありますので、コ
ネクターの接点部分、ポート、部品などに素手
で触れないでください。



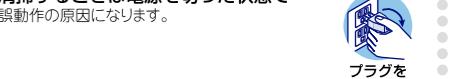
タコ足禁止

たこ足などで定格を超えると発熱による
火災の原因となります。



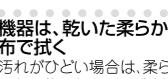
取り扱いはていねいに

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与える
しないでください。



お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で
誤動作の原因になります。



正しく設置

機器は、乾いた柔らかい
布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らか
い布に薄めた台所用洗剤(中
性)をしみこませ、固く絞った
もので拭き、乾いた柔らかい
布で仕上げてください。



シンナー類 不可

石油・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・
粉せっけん・みがき粉
(化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書き
に従ってください)

3 アイコンの説明

アイコン	意味	説明
ヒント	ヒント	知っていると便利な情報、操作の手助けになる情報を示しています。
注意	注意	物的損害や使用者が傷害を負うことが想定される内容を示しています。
警告	警告	使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
参照	参照	関連する情報が書かれているところを示しています。

4 各部の名称と機能

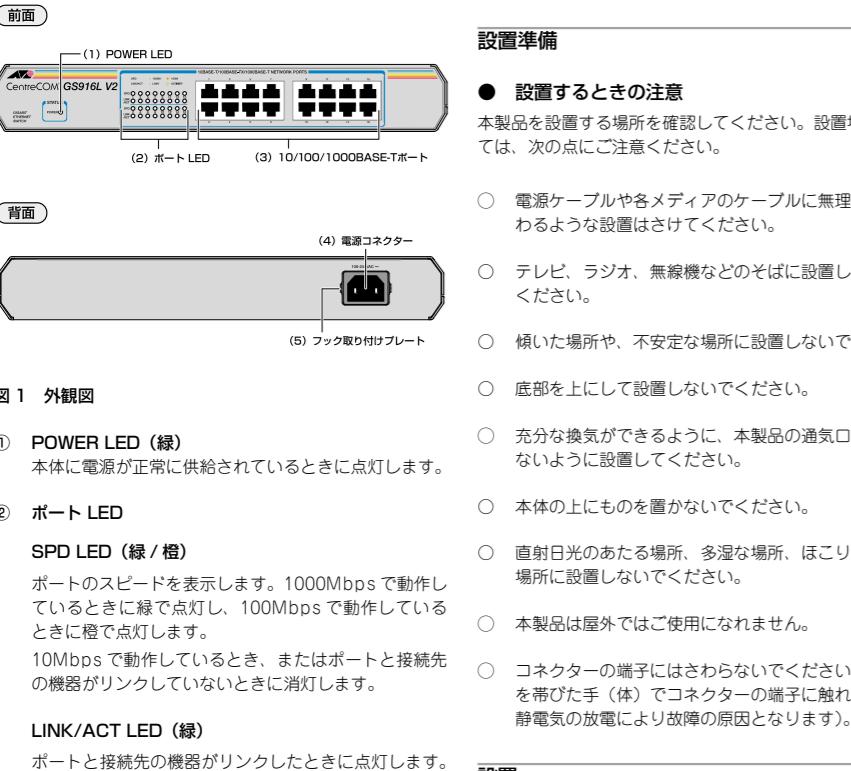


図 1 外観図

① POWER LED (緑)

本体に電源が正常に供給されているときに点灯します。

② ポート LED

SPD LED (緑/橙)

ポートのスピードを表示します。100Mbpsで動作しているときに緑で点灯し、10Mbpsで動作しているときに橙で点灯します。

10Mbpsで動作しているとき、またはポートと接続先の機器がリンクしていないときに消灯します。

LINK/ACT LED (緑)

ポートと接続先の機器がリンクしたときに点灯します。また、ポートがパケットを送受信しているときに点滅します。

③ 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポート

10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-TのUTPケーブルを接続するためのコネクターです。接続先の種類(MDI/MDI-X)にかかわらず、ストレート/クロスどちらのケーブルでも使用できます。また、これらのポートはオートネゴシエーション機能をサポートしているため、最適な通信速度と通信モードを自動設定します。

④ 電源コネクター

電源ケーブルを接続するためのコネクターです。

⑤ フック取り付けフレート

オプション(別売)の電源ケーブル抜け防止フックを取り付けるプレートです。

5 設置

本製品の設置を始める前に、必ず「安全のために」をよくお読みください。

設置方法

本製品は、次の方法による設置ができます。

○ ゴム足による水平方向の設置

オプション(別売)を利用することにより、次の方法による設置ができます。

○ ラックマウントキット(AT-RKMT-J07)による19インチラックへの水平方向の設置

● 壁面への設置

本製品の壁面への設置は、別売の壁設置プラケットAT-BRKT-J22を使用し、以下の点に注意して行ってください。

- ・壁設置プラケットの使用方法は、AT-BRKT-J22の取扱説明書をご参照ください。
- ・本製品は必ず下図の○の方向に設置してください。

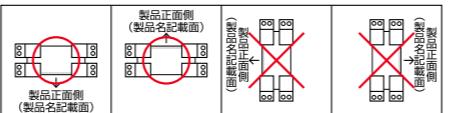


図 2 壁設置プラケットを使用する場合の設置方向

! 注意

電源部が下向きになる方向で設置する場合には、必ずオプション(別売)の電源ケーブル抜け防止金具(AT-RTNR-01)を使用し、電源ケーブルを固定してください。

設置準備

● 設置するときの注意

本製品を設置する場所を確認してください。設置場所については、次の点にご注意ください。

- 電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような設置はさけてください。
- テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。
- 傾いた場所や、不安定な場所に設置しないでください。
- 底部を上にして設置しないでください。
- 充分な換気ができるように、本製品の通気口をふさがないように設置してください。
- 直射日光のある場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- 本製品は屋外ではご使用になれません。
- コネクターの端子にはさわらないでください(静電気を帯びた手(体)でコネクターの端子に触ると、静電気の放電により故障の原因となります)。

設置

● 平らなところに設置する

本製品は、ゴム足を取り付けた状態で出荷されますので、そのままデスクの上などの平らなところに設置して使用できます。

オプション(別売)を利用した設置

● 19インチラックへの水平方向の設置

本製品を19インチラックに取り付ける場合には、オプションの19インチラックマウントキットAT-RKMT-J07をご使用ください。

・ラックマウントキットの使用方法は、AT-RKMT-J07の取扱説明書をご参照ください。

- ・本製品をオプションの19インチラックマウントキットを使用して19インチラックに取り付ける際は、適切なネジで確実に固定してください。固定が不充分な場合、落下などにより重大な事故が発生するおそれがあります。
- ・ラックマウントキットの本製品への取り付けは、ラックマウントキットの取扱説明書に従って正しく行ってください。指定以外のネジ等を使用した場合、感電、火災、故障等の危険があります。

● UTPケーブルの長さ

本製品とネットワーク機器を接続する長さは100m以内にしてください。

電源ケーブルの接続 (本製品の起動)

本製品は、電源ケーブルを電源コンセントに接続することで電源が入ります。

本製品では、次の電源ケーブルを使用できます。

- 同梱の電源ケーブル(AC100V用)
- オプション(別売)のL字型コネクター電源ケーブル
 - ・背面スペースが限られた場所でも、奥行きをとらずに設置できます。
- ・AT-PWRCBL-J01L/J01R

同梱の電源ケーブルはAC100V用です。本製品をAC200Vで使用する場合は、設置業者にご相談ください。不適切な電源ケーブルや電源コンセントを使用すると、発熱による発火や感電のおそれがあります。

電源ケーブル抜け防止対策として、オプション(別売)の電源ケーブル抜け防止金具(AT-RTNR-01)をご使用いただけます。

・本製品には電源スイッチがありません。電源ケーブルを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りりますのでご注意ください。

・オプション(別売)のL字型コネクター電源ケーブルと電源ケーブル抜け防止金具は、同時に使用できません。(L字型コネクター電源ケーブルは、同梱の電源ケーブルに比べて抜けにくいケーブルです。)

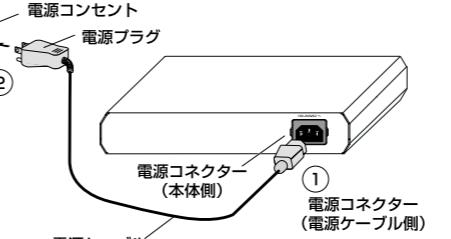


図 3 マグネットキットを使用する場合の設置方向

図 4 電源ケーブルの接続

1. 本体側の電源コネクターを接続します。

図4の①をご覧ください。

2. 電源プラグを電源コンセントに接続します。

図4の②をご覧ください。

このとき、本体前面のPOWER LED(緑)が点灯することを確認してください。UTPケーブルが正しく接続され、接続先機器とのリンクが確立されると、接続したポートのLINK/ACT LED(緑)が点灯します。

本製品の停止

本製品を停止するには、電源コンセント側の電源プラグを抜いてください。

・電源を抜くときには、本体側の接続を先に抜かないでください。感電事故を引き起こすおそれがあります。

・本製品を停止してから再度起動する場合は、しばらく間をあけてください。

7 構成

本製品はスタンドアローンでご使用いただけるほか、下図のとおりカスケード接続でもご使用いただけます。

カスケード接続

本製品はMDI/MDI-X自動切替機能をサポートしていますので、接続先の種類(MDI/MDI-X)にかかわらず、どちらのケーブルタイプ(ストレート/クロス)でも使用できます。

・スイッチ同士のカスケード接続は、カスケードできる数に理論上の制限はありません。そのため、用途に合わせてネットワークを拡張することができます。

・カスケードの段数はネットワーク上で動作しているアブリケーションのタイムアウトによって制限される場合があります。

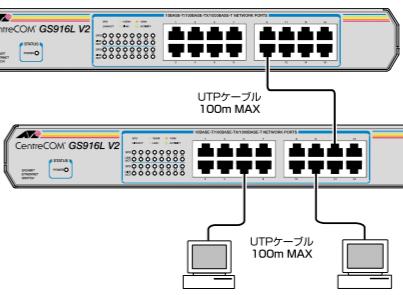


図 5 カスケード接続例

8 設定

通信速度 / 通信モードの設定

本製品と接続先機器の通信モードは、次の表の○印の組み合わせになるように設定してください。

IEEE 802.3規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない製品と本製品を接続する場合は、接続先機器のポートの通信モードをHalf Duplexに設定してください。

接続先ポート	GS916L V2
10M/100M	Auto ○
Half	○
Full	—
Auto	○
1000M	Auto ○

9 トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

● POWER LED は点灯していますか?

POWER LEDが点灯していない場合は、電源ケーブルに断線がなく正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

● 機器を停止後、すぐに起動していませんか?

本製品を停止してから再度起動する場合は、しばらく間をあけてください。

● LINK/ACT LED は点灯していますか?

LINK/ACT LEDは接続先機器と正しく接続されている場合に点灯します。点灯しない場合、以下のことを確認してください。

● 接続先機器に電源が入っていることを確認してください。

接続先機器が障害がなく通信可能な状態にあることを確認してください。

● 正しいUTPケーブルが接続されていますか?

UTPケーブルが正しく接続され、接続先機器とのリンクが確立されると、接続したポートのLINK/ACT LED(緑)が点灯します。

● 本製品の設置を始める前に、必ず「安全のために」をよくお読みください。

本製品の設置を始める前に、必ず「安全のために」をよくお読みください。

・接続先機器が電源が入っていることを確認してください。接続先機器が障害がなく通信可能な状態にあることを確認してください。

● 本製品は、ゴム足を取り付けた状態で出荷されますので、そのままデスクの上などの平らなところに設置して使用できます。

本製品は、ゴム足を取り付けた状態で出荷されますので、そのままデスクの上などの平らなところに設置して使用できます。

・接続先機器が電源が入っていることを確認してください。接続先機器が障害がなく通信可能な状態にあることを確認してください。

● 接続先機器の通信モードを確認してください。

本製品のポートは、オートネゴシエーション機能をサポートしています。

IEEE 802.3u規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない製品と本製品のポートを接続する場合は、接続先機器の通信モードをHalf Duplexに設定してください。

10 製品仕様

標準規格	IEEE 802.3 10BASE-T IEEE 802.3u 100BASE-TX IEEE 802.3ab 1000BASE-T IEEE 802.3x Flow Control
適合規格	UL60950-1, CSA-C22.2 No.60950-1
EMI 規格	VCCI クラス B
電源部	